

## 第4講 ウィーン体制の成立と崩壊の流れ

- ① ウィーン会議と最も関係の薄い人を1人選びなさい。  
①アレクサンドル1世 ②メッテルニヒ ③タレーラン ④ネルソン ⑤ルイ18世
- ② ウィーン会議について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを1つ選べ。  
①ロシア・オーストリア・プロイセン・イギリスは、神聖同盟を結んだ。 ②ポーランド立憲王国の国王はプロイセン王が兼ねた  
③オランダはケープとセイロン島を失った ④英外相ピットが提唱した正統主義に基づき、ブルボン朝が復活した
- ③ ウィーン体制が動揺する流れについて述べた次の文中の波線から、正しいものを1つ選べ。間違いは直しなさい。  
1920年代において、ドイツでは労働者を中心としたブルシェンシャフトが、イタリアではサルデーニャ王国の蜂起が、いずれもメッテルニヒにより弾圧された。また、トルコでは、新帝の即位に反対してデカプリストの乱が起きたがこれも鎮圧されてしまった。
- ④ ギリシアの独立に関する文として、正しいものを1つ選びなさい。  
①オーストリアからの独立戦争であった ②ロマン主義の文化人は独立を支持した  
③プレヴェザの戦いで勝利した ④ベルリン会議で独立を承認された
- ⑤ 中南米の独立に関する組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。  
①シモン＝ボリバル … アルゼンチン ②ブラジル … フランスより  
③サン＝マルティン … メキシコ ④イギリス … カニング外交
- ⑥ フランスの七月革命について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを1つ選べ。  
①直前のチュニジア出兵した ②直後の四月選挙では男女普通選挙制度が実施された。  
③直後にウィーン会議が開かれた。 ④シャルル10世が追放され、ルイ＝フィリップが国王になった。
- ⑦ 下記の出来事から、七月革命の影響のモノ、二月革命の影響のモノを、それぞれ1ずつ選べ。 完答  
①ベルギー王国の独立 ②コシュートのハンガリー暴動 ③アドリアノーブル条約  
④マッツィーニのスラヴ民族運動 ⑤スイスの永世中立国化 ⑥ケープ植民地、イギリス領となる
- ⑧ **19世紀のフランス**の政体に関する事柄を年代順に並べよ。  
①第一帝政 ②第二帝政 ③第一共和政 ④第二共和政 ⑤第三共和政 ⑥ブルボン朝 ⑦オルレアン朝  
(ここから～)
- ⑨ ルイ＝ナポレオン(ナポレオン3世)の業績として正しいものを2つ選べ。 完答  
①国立作業場の設置 ②クリミア戦争 ③ドレフェス事件  
④パリ万国博覧会 ⑤モロッコ出兵 ⑥ギリシア独立戦争

今日は9問です！

メモメモメモメモ…(^◇^)